

1. 略歴

- 1990年3月 岡山大学文学部史学科卒業
1990年4月 大阪市立大学文学研究科修士課程東洋史学専攻入学
1992年3月 同上 修了。文学修士の学位を取得
1992年4月 大阪市立大学文学研究科博士課程東洋史学専攻入学
1994年9月 武漢大学（中国）にて歴史系高級進修生として在外研究（～1996年7月）
2001年3月 大阪市立大学文学研究科博士課程東洋史学専攻修了。大阪市立大学文学研究科より博士（文学）の学位を取得
2001年10月 岡山大学文学部助教授
2006年4月 岡山大学大学院社会文化科学研究科助教授
2007年4月 岡山大学大学院社会文化科学研究科准教授
2010年4月 東京大学大学院人文社会系研究科准教授

2. 主な研究活動

a 専門分野

中国古代史

b 研究課題

皇帝権力の形成と展開、4～5世紀の遊牧民族の南下と社会変容、都城史、石刻資料を用いた社会史

c 概要と自己評価

主に都城史の分野で自著『中国古代都城の設計と思想』（勉誠社、2016年）で残された幾つかの課題について研究をおこなった。共著の『東アジア古代都市のネットワークを探る』は2105年に東京大学で開催した国際シンポジウムをもとにした論文集である。また科研費、挑戦的萌芽研究「7世紀東アジア世界における文化的多様性とその淵源についての研究」を進めた。その中で論文「北魏末の北辺社会と六鎮之乱」や学会発表「唐長安城の朱雀大街と日本平城京の朱雀大路」など特に高く評価できる研究成果を生んだ。

d 主要業績

(1) 著書

共著、黄曉芬、鶴間和幸編、佐川英治ほか17名、『東アジア古代都市のネットワークを探る一日・越・中の考古学最前線一』、2018.2

(2) 論文

佐川英治、「従西郊到円丘—《文館詞林・後魏孝文帝祭円丘大赦詔》所見孝文帝の祭天礼儀—」、『中古中国研究』、1、1-26頁、2017.6

佐川英治、「ロンドン “Law and Writing Habits in the Ancient World” 学会参加記」、『東方学』、134、112-121頁、2017.7

佐川英治、「鄴城に見る都城制の転換」、『アジア遊学』、213、2017.8

佐川英治、「北魏末の北辺社会と六鎮之乱—以楊鈞墓誌和韓買墓誌為線索—」、『魏晋南北朝隋唐史資料』、36、2017.11

(3) 学会発表

国際、佐川英治、「北魏末期北辺社会と六鎮之乱—以楊鈞墓誌和韓買墓誌為線索—」、秦漢魏晋南北朝史国際学術研討会、2016.8.19

国際、佐川英治、“Research into a Northern Qi Pillar Honouring a Local Buddhist Benevolent Society”、International Conference “Law and Writing Habits in the Ancient World”、2016.9.1

国際、佐川英治、「六朝建康城と東亜都城」、「六朝歴史と南京記憶」国際学術研討会、2017.3.11

国際、佐川英治、「鄴城所見中國都城制度的轉換」、中国魏晋南北朝史学会第十二届年会暨国際学術研討会、2017.8.17

国内、佐川英治、「唐長安城の朱雀大街と日本平城京の朱雀大路—都城の中軸線からみた日中の政治文化—」、唐代史研究会夏期シンポジウム、2017.8.23

国内、佐川英治、「都城制の画期をめぐる歴史学と考古学—曹魏の鄴と洛陽の復元を中心に—」、日本中国考古学会2017年度大会、2017.11.3

(4) 研究テーマ

文部科学省科学研究費補助金、挑戦的萌芽研究、佐川英治、研究代表者、「7世紀東アジア世界における文化的多様性とその淵源についての研究」、2016～2017

3. 主な社会活動

(1) 他機関での講義等

特別講演、復旦大学文史研究院、「古代東亜都城的理念」、2016.5

特別講演、人民大学歴史学院、「古代東亜的都城理念」、2016.12

特別講演、北京大学人文社会科学研究院、「北魏六鎮史三題—設置、変質、崩壊—」、2016.12

非常勤講師、中央大学、「グローバルヒストリー入門／東洋中世史A、東アジア中世史／東洋中世史B」、2017.4～2018.3

特別講演、清華大学歴史系思想文化研究所、「北魏六鎮与对于高車部族的羈縻政策」、2017.10

(2) 学会

国際、中国魏晋南北朝史学会、海外名誉理事、2016.9～

(3) 学外組織(学協会、省庁を除く)委員・役員

民間企業、東京書籍株式会社、教科書「新しい社会」専門委員、2017.5～2018.3